

野村ピクテ・ヘルスケア・ファンド

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第10期(決算日2019年6月18日)

作成対象期間(2018年6月19日～2019年6月18日)

第10期末(2019年6月18日)	
基準価額	18,937円
純資産総額	7,877百万円
第10期	
騰落率	3.5%
分配金(税込み)合計	950円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、世界各国(新興国を含みます。)のヘルスケア関連企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

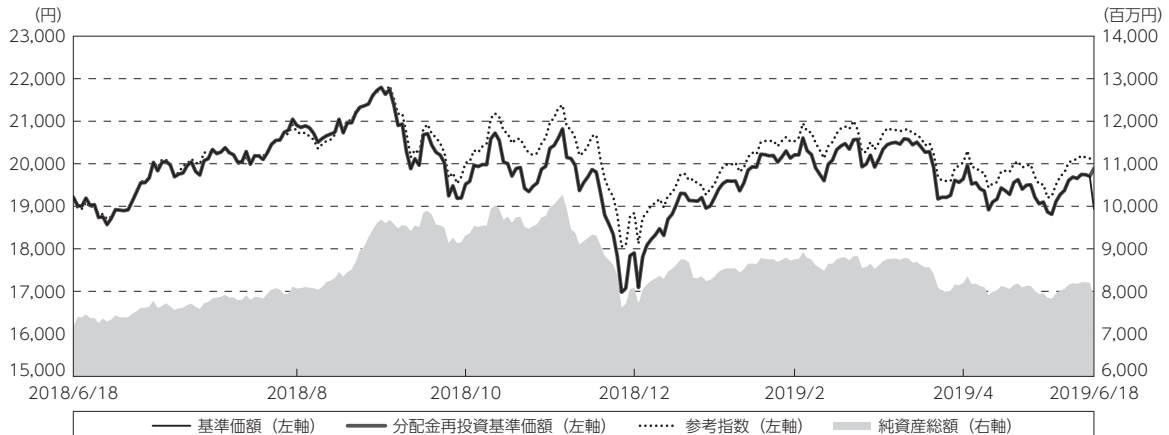


ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2018年6月19日～2019年6月18日)



期 首：19,215円

期 末：18,937円 (既払分配金 (税込み) : 950円)

騰落率： 3.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2018年6月18日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI世界ヘルスケア株指数 (円換算ベース) です。詳細は4ページをご参照ください。参考指数は、作成期首 (2018年6月18日) の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首19,215円から期末18,937円 (分配後) となりました。

- (上 昇) 2018年4-6月期決算で、医薬品およびバイオ医薬品大手企業の業績が前四半期から回復したこと、株式市場のボラティリティ (株価変動性) が高まる環境下、大型の医薬品およびバイオ医薬品株の事業のディフェンシブ性などが好感されたこと
- (下 落) 米中の貿易摩擦激化のリスクが高まったこと、英国のEU (欧州連合) 離脱やイタリアの予算案を巡る懸念などを背景に世界の株式市場が大幅下落となったこと、為替市場でドル安 (円高) が進行したこと
- (上 昇) 米医薬品大手企業による米バイオ医薬品大手企業の買収、米医薬品大手企業による肺がん診断・治療用ロボット開発を手掛ける企業の買収、スイスの医薬品大手企業による米バイオ医薬品企業の買収などが相次いで発表されたこと、為替市場でドル高 (円安) となったこと
- (下 落) 米バイオテクノロジー大手企業が治験の評価項目の達成が困難であるとして、アルツハイマー病治療薬の開発中止を発表したこと、米国のサンダース上院議員が国民皆保険制度の実現を

目指す「メディケア・フォー・オール2019」法案を上院に提出したこと、米中貿易問題が再燃し世界の株式市場が全般的に下落したこと、為替市場でドル安（円高）が進行したこと

1万口当たりの費用明細

(2018年6月19日～2019年6月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 405	% 2.052	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(220)	(1.112)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(171)	(0.864)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(15)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	11	0.058	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(11)	(0.058)	
(c) 有価証券取引税	2	0.010	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(2)	(0.010)	
(d) その他費用	8	0.040	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(7)	(0.037)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	426	2.160	
期中の平均基準価額は、19,755円です。			

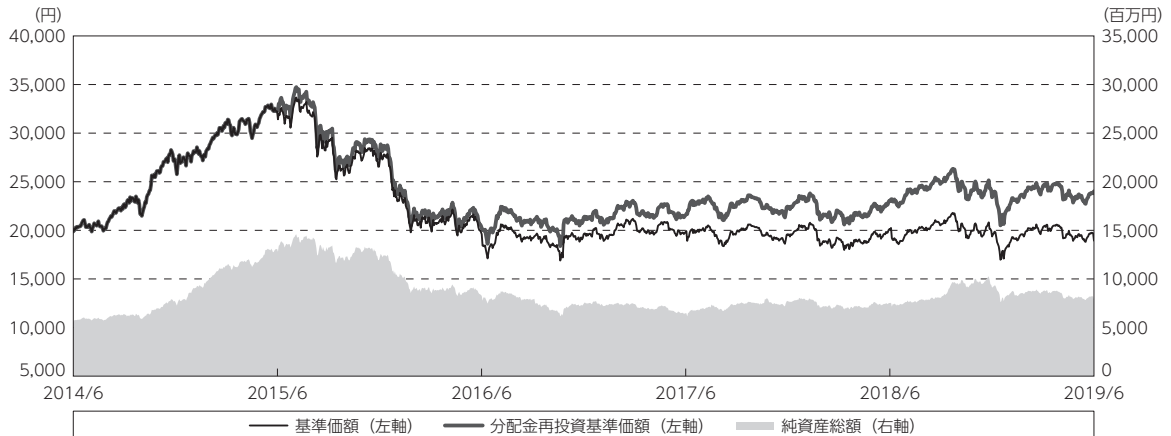
(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年6月18日～2019年6月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2014年6月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2014年6月18日 決算日	2015年6月18日 決算日	2016年6月20日 決算日	2017年6月19日 決算日	2018年6月18日 決算日	2019年6月18日 決算日
基準価額 (円)	19,874	31,423	18,414	18,917	19,215	18,937
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,000	1,000	1,000	1,050	950
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	63.1	△ 38.2	8.2	7.1	3.5
参考指数騰落率 (%)	—	—	—	—	—	4.9
純資産総額 (百万円)	5,517	12,795	7,758	6,143	7,153	7,877

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、2018年6月1日付で、参考指数(=MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース))を設けております。

* 参考指数(=MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース))は、MSCI世界ヘルスケア株指数(US\$ベース)を当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場値で円換算しております。

* MSCI世界ヘルスケア株指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

投資環境

(2018年6月19日～2019年6月18日)

世界株式市場は、2018年10月から12月にかけて、米中貿易問題が深刻化するとの懸念が強まったことや、米国や中国の経済指標が予想を下回り世界的に景気減速懸念が強まったことなどから下落しました。また、12月下旬にFOMC（米連邦公開市場委員会）が政策金利を引き上げるとともに、市場予想ほどハト派（金融緩和選好）ではないコメントを発表したことも下落要因となりました。2019年1月から4月にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）のパウエル議長が金融政策を柔軟に運用する姿勢を示し、米国の利上げ休止観測が高まったことや、FOMCで年内の利上げ停止が示唆されたこと、中国が景気刺激策の実施を示唆したことなどを背景に上昇に転じました。しかし、その後は米中貿易問題が再燃したことを背景に、期末にかけ軟調な展開が続きしました。こうした中、ヘルスケア株は、米国で国民皆保険制度の実現を目指す「メディケア・フォー・オール2019」法案が上院に提出されたことなどを背景に、株価上昇率は市場平均を下回る形となりました。

為替市場では、期首110円台で始まったドル円レートは、米国の良好な景況感を受け金利が上昇したことなどを背景に、2018年10月上旬に一時114円台まで円安が進みました。10月中旬から2019年1月上旬にかけては、株価下落で投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、世界的な景気減速懸念から米金利が低下したことなどを背景に、ドル安・円高が進行しました。その後、1月中旬から4月にかけては、株式市場が反発し投資家のリスク回避姿勢が弱まったことや、米国や中国の一部経済指標に景気回復の兆しが見られたことなどからドル高・円安が進行しました。しかし、5月上旬から期末にかけては、米国と中国が貿易協定で合意できず問題が再燃したことや、米国で利下げ観測が強まったことなどからドル安・円高が進行し、期末のドル円レートは108円台となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2018年6月19日～2019年6月18日)

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 株式への投資にあたっては、世界各国のヘルスケア関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を、各分野の専門的な観点から調査、評価して投資銘柄を選定しました。
- (2) バリュエーション（投資価値評価）の観点から、割高となった銘柄を売却し、割安な銘柄を購入するなど、銘柄の入れ替えも適宜実施しました。
- (3) 世界的な健康への関心の高まりから投資収益を得るべく、より健康な生き方（ライフスタイル）に資する製品やサービスを提供する企業への投資比率を引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

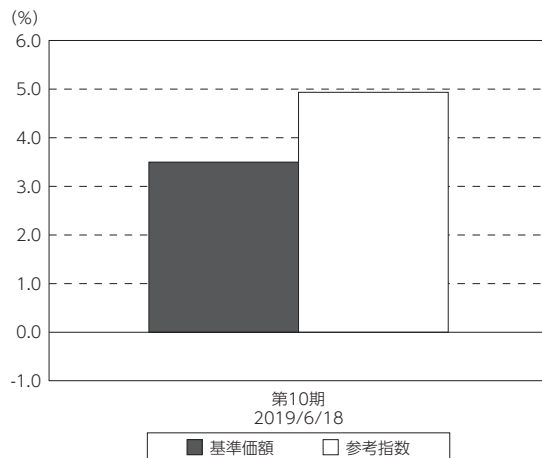
(2018年6月19日～2019年6月18日)

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース)の4.9%の上昇に対し、基準価額は3.5%の上昇となりました。主なマイナスの差異要因としては、スイスの医薬品大手企業をアンダーウェイト(参考指数と比べ低めの投資比率)とした一方、アイルランドのバイオ医薬品企業やドイツのヘルスケア施設会社、米国の管理医療会社などをオーバーウェイト(参考指数と比べ高めの投資比率)としていたことなどがあげられます。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注) 参考指数は、MSCI世界ヘルスケア株指数(円換算ベース)です。

分配金

(2018年6月19日～2019年6月18日)

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり950円の収益分配を行いました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項目	第10期	
	2018年6月19日～2019年6月18日	
当期分配金	950	
(対基準価額比率)	4.777%	
当期の収益	64	
当期の収益以外	885	
翌期繰越分配対象額	11,163	

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<投資環境>

「ヘルスケア」という投資テーマは、世界的な高齢化の進展という人口動態の変化が革新的な研究やより効率的な治療法を生み出すドライバーとなっていること、広範にわたる医療ニーズは未だ十分には満たされていないこと、世界全体では幅広い領域で多くの医薬品が臨床研究段階にあること、世界中の人々が経済成長に伴い、自身の健康のために投資する動きが強まってきており、革新的なヘルス・ソリューションに対する継続的な需要を創造していること、などから魅力的な投資対象と考えております。

<運用方針>

当ファンドの投資戦略は、①新薬開発における医薬品企業およびバイオ医薬品企業によるイノベーション、②ヘルスケア機器やヘルスケア・サービスの開発における更なる進化、③ヘルスケアセクターに対して提供されるより効果的なライフサイエンス・ツールとヘルスケア・テクノロジーの構築および導入、という3つの領域を中心に投資収益の拡大を図ることに注力して参ります。また、世界的な健康への関心の高まりから投資収益を得るべく、より健康な生き方（ライフスタイル）に資する製品やサービスを提供する企業にも投資していきます。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

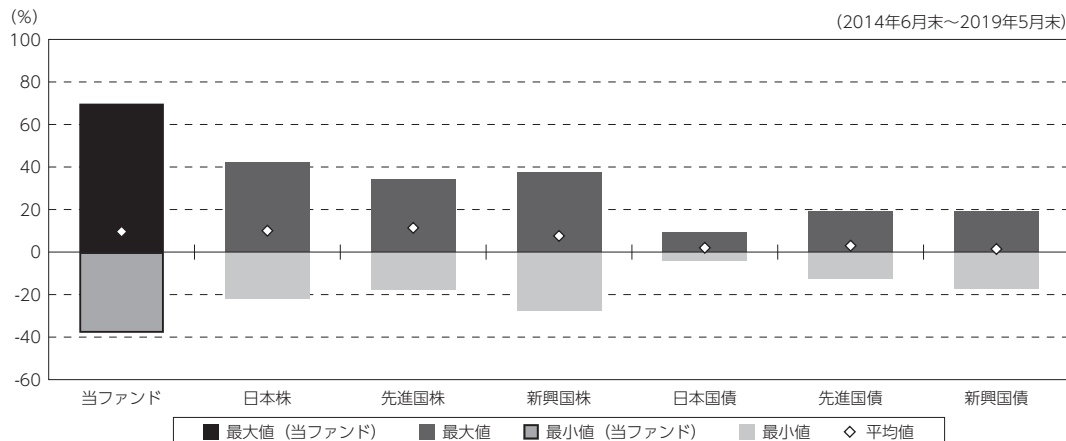
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年6月24日から2024年6月18日までです。
運用方針	世界各国（新興国を含みます。）のヘルスケア関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、世界のヘルスケア関連企業の中から高い成長が期待される企業の株式を各分野の専門的な観点から調査、評価して、投資銘柄を選定します。また、バリュエーション、流動性等を考慮しポートフォリオを構築します。 外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	世界各国のヘルスケア関連企業の株式を主要投資対象とします。なお、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証券および償還金額等が株式の価格や株価指数に連動する効果を有するリンク債等に投資をする場合があります。
運用方法	世界各国（新興国を含みます。）のヘルスケア関連企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行うことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	69.8	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 38.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	9.6	10.0	11.4	7.6	2.0	3.0	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年6月から2019年5月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

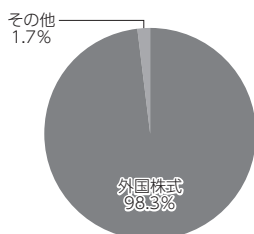
組入資産の内容

(2019年6月18日現在)

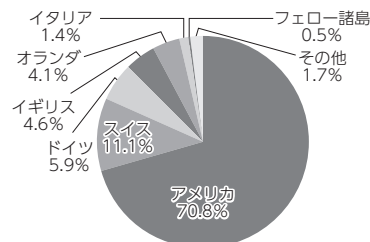
○組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ROCHE HOLDING (GENUSSCHEINE)	医薬品	スイスフラン	スイス	5.3
2	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	米ドル	アメリカ	5.1
3	ABBOTT LABORATORIES	ヘルスケア機器・用品	米ドル	アメリカ	5.1
4	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	ライフサイエンス・ツール/サービス	米ドル	アメリカ	4.8
5	UNILEVER NV-CVA	パーソナル用品	ユーロ	オランダ	4.1
6	BOSTON SCIENTIFIC CORP	ヘルスケア機器・用品	米ドル	アメリカ	3.8
7	CLOROX CO	家庭用品	米ドル	アメリカ	3.2
8	MERCK & CO INC	医薬品	米ドル	アメリカ	3.2
9	ILLUMINA INC	ライフサイエンス・ツール/サービス	米ドル	アメリカ	3.2
10	CENTENE CORP	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	米ドル	アメリカ	3.0
	組入銘柄数		43銘柄		

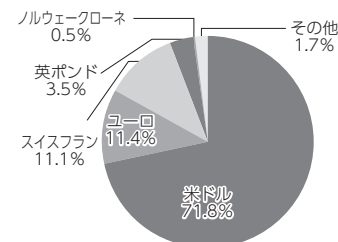
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第10期末
	2019年6月18日
純資産総額	7,877,700,421円
受益権総口数	4,159,908,415口
1万円当たり基準価額	18,937円

(注) 期中における追加設定元本額は2,084,404,697円、同解約元本額は1,647,522,563円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持っており、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2019年6月18日現在)

年 月	日
2019年6月	－
7月	4
8月	26
9月	2
10月	－
11月	28
12月	25、26

※2019年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識している情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。